

平成22年度中国地方ダム等管理フォローアップ委員会

高瀬堰定期報告書の総括

平成22年度中国地方ダム等管理フォローアップ委員会において高瀬堰定期報告書の審議を行った。

審議は、1. 流水の安全な疎通、2. 利水効果、3. 堆砂、4. 水質、5. 生物、6. 堰と地域との関わりについて、平成17年度から平成21年度までの5年間の評価を行った。

審議された各項目については、概ね所期の機能を果たすとともに、自然環境についても安定した状態であると評価できる。

生物について配慮した「回遊性底生動物の遡上に配慮した舟通しの操作」や「アユ仔魚降下に配慮した運用変更放流」の取り組みについては、引き続き検証を進められたい。

堰と地域との関わりに関する調査・評価手法については、調査目的を明確にし調査方法等を今後検討されたい。

今後とも適切な堰管理を実施していくとともに、データの蓄積にあたっては、その活用が十分に図られるよう取り組み、生物環境・社会環境にも配慮した堰管理をされたい。